

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 14 日現在

機関番号：34314

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2011～2015

課題番号：23320013

研究課題名(和文) アフガニスタンおよびパキスタン出土仏教写本の研究

研究課題名(英文) Investigating Buddhist Manuscripts from Afghanistan and Pakistan

研究代表者

松田 和信 (MATSUDA, Kazunobu)

佛教大学・仏教学部・教授

研究者番号：90268128

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 10,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、1990年代の初頭、アフガニスタンのバーミヤン渓谷東部のザルガラン地区、およびパキスタンのギルギットから発見され、ノルウェーのスコイエン・コレクションを主とする世界各地のコレクションと研究機関に引き取られた、大量のインド語仏教写本類について、海外の研究協力者とともに解読研究を行い、テキストと翻訳を出版することを目的とした。写本類を解読するために国際共同研究が立ち上げられ、本研究に先立つ研究の成果としてすでに数巻の研究報告書がオスロより出版されているが、今回の5年間の研究期間を通して解読が継続され、その成果として新たな研究成果報告書が2016年にオスロより出版される予定である。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this research project is to study on a huge cache of Indic Buddhist manuscripts discovered from the Zargaran district in the eastern part of the Bamiyan valley and Gilgit of Pakistan during the early 1990s. These various manuscripts are preserved by different collectors and institutions in Europe and America, as well as Japan, with the most representative one being the Schoyen Collection in Oslo, Norway. An international joint research team has begun to decipher these manuscripts, and the results of our research findings have been published in several volumes and the new one will be released in Oslo in 2016 as a result of the five years research project.

研究分野：仏教学

キーワード：仏教学 アフガニスタン パキスタン ガンダーラ語 サンスクリット語 写本

1. 研究開始当初の背景

1970年代末の旧ソビエトによるアフガニスタン介入とそれに続くアフガン内戦、さらにタリバンのアフガニスタン支配からアフガン戦争を経て現在に至るアフガニスタンの状況は、古代にガンダーラと呼ばれた、パキスタンの周辺部を含むアフガニスタン現地の荒廃と引き換えに、世界の古写本マーケットに膨大な量のアフガニスタンおよびパキスタン出土仏教写本の流入という皮肉な結果をもたらした。古写本マーケットに現れた仏教写本の大部分は、欧米および我が国の研究機関あるいは蒐集家に引き取られていった。そのような状況下、1990年代の中頃、アフガニスタンのバーミヤン渓谷東北部に位置するザルガラーン地区の崩壊した石窟寺院跡から、種々の古代インド系言語で書かれた仏教写本の断簡類が大量に発見された。写本断簡類はパキスタンからヨーロッパの古美術マーケットを経由して、ノルウェーのスコイエン・コレクション、米国のアダムス・コレクション、我が国の故平山郁夫画伯のコレクション、富山県の林寺巖州コレクション、ドイツの匿名コレクションらに分割して引き取られた。

発見された仏教写本の断簡類は、小さな破片類も入れると全体で一万点以上にのぼるが、仏教研究に寄与すると思われる、数行以上の文章をとどめる断簡だけでも約2000点を数えた。それらは、カローシュティー文字、草書体ギリシャ文字、クシャーナ朝のブラーフミー文字、グプタ朝のブラーフミー文字、ギルギット・バーミヤン1型および2型文字といった、2世紀から8世紀にかけてのインド系、あるいはギリシャ系文字で貝葉（パルミラ椰子の葉）、樺皮（樺の木の樹皮）、獣皮に書写されたガンダーラ語とサンスクリット語といった古代インド語、さらに一部はバクトリア語で書かれた仏教文献であった。その中には、本研究の開始時までには正体の判

明していたものだけでも、カローシュティー文字によるガンダーラ語の『大般涅槃経』（2-3世紀）、同じくカローシュティー文字によるガンダーラ語の大乗経典『賢劫経』『菩薩藏経』『集一切福德三昧経』（3-4世紀）、クシャーナ文字によるサンスクリット語の『八千頌般若経』（3-4世紀）、グプタ文字による『勝鬘経』『諸法無行経』『阿闍世王経』（4-5世紀）、ギルギット・バーミヤン第1型文字による『無量寿経』（6世紀）、同じくギルギット・バーミヤン第1型文字による因縁物語付きの大衆部教団所属の『法句経』や『摩訶僧祇律』（6世紀）などの、驚くべき内容と年代の仏教文献が数多く含まれていた。

またほぼ同時期にパキスタン北部の、インドとの国境紛争地帯に位置するギルギットからも、説一切有部教団がサンスクリット語で伝承した『長阿含経（Dirgha-agama）』の巨大写本、さらに『根本有部律』や『雑阿含経』の断簡類を含む多数の写本類が発見され、それらも分割されて複数のコレクションに引き取られた。これら新発見の貴重な写本類が仏教研究にもたらす価値は計りしれないものがある。古代に仏教が栄えたバーミヤンやギルギットから生の同時代資料が発見されたのである。これら写本類に対する解読研究を速やかに行なって学界に公表することは、日本および世界の仏教研究者から強く求められているところであった。

2. 研究の目的

本研究の代表者（松田和信）は、これらの新発見の写本断簡類について、所蔵する各国のコレクションから資料の提供と研究の委託を受け、1997年より、ノルウェー科学アカデミー、および我が国の科学研究費の資金援助を仰ぎながら、オスロ大学のイェンス・ブロールヴィック教授、ミュンヘン大学のイェンス＝ウヴェ・ハルトマン教授等の、ヨーロッ

パと米国の研究者と共同で研究と出版を行っているが、特に、我が国の故平山郁夫画伯との間では正式に覚え書きを交わし、コレクションに含まれる写本類の研究と出版の委託を受けている。また、ノルウェーのスコイエン・コレクションについても、所有者のマーティン・スコイエン氏と契約を交わし、本研究の代表者およびオスロ大学のイエンス・ブロールヴィック教授（前述）を含む5名のグループによって国際共同研究が現在も行われ、平山コレクションに含まれる断簡類も含めて、すでにその研究成果が数巻に分けてノルウェーのオスロより出版されている（『スコイエン・コレクションの仏教写本（英文）』第1巻、2000年、第2巻、2002年、第3巻、2007年）。しかしこれまでに我々が出版した写本類は、新たに発見された写本断簡類全体の三分の一程度にすぎない。いまだ約1千点を超える貴重な写本断簡類が私たちの研究を待っている状態であった。しかもその中には、漢訳やチベット語訳等の平行資料の存しない、未知の仏教教団の経典や論典の写本断簡類が数多く含まれていた。

本研究は、5年間の予定で、ノルウェーのスコイエン・コレクションと我が国の平山郁夫コレクションを中心とする、新発見のアフガニスタンおよびパキスタン出土写本類について、海外の研究協力者とともに解読を継続し、未解読のまま残されている写本断簡類について解読を終え、その研究成果の出版を目指すものであった。

3. 研究の方法

ノルウェーのスコイエン・コレクションに含まれるアフガニスタン出土写本断簡類については、海外の研究協力者と連絡を取りながら分担して写本解読を行うと共に、研究協力者が所属する研究機関に定期的に集まって研究会を開催して共同研究を行う方

法を取った。研究対象となる写本類については、すでに研究代表者および海外研究協力者は写真とデジタル・データですべて入手し、すでにその一部を数巻の報告書としてオスロより出版しているが、研究会では、残された膨大な量の写本断簡類について、5年間の研究期間の間、各研究者が事前に各自解読を行った成果を持ち寄り、最終的な解読と英訳作業を行った。さらに、スコイエン・コレクション以外で未出版のまま残されている重要資料であるギルギットから発見されたと伝えられるサンスクリット語による『長阿含経』写本についても、海外の研究協力者とともに出版のための解読研究を行った。また研究代表者自身は、関連する資料を所蔵する海外のコレクションを現地調査して、研究代表者が所持している写真等では判読できない箇所の確認作業を行った。特に、最終年度には海外研究協力者と共にスコイエン・コレクションを一週間訪問して写本類をスキャンし、詳細なデジタル・データを再取得した。

4. 研究成果

5年間の研究期間中に海外の研究協力者と共に解読を終えた断簡類について、新たな研究成果報告書がオスロより出版される予定である。これによって、既刊分と併せて、1万点に上る断簡類全体の約5割が出版されることになる。さらに研究成果の一部については、出版を待たずに、海外の学会に参加して順次口頭発表、よよび雑誌論文による発表を行った。研究成果出版に含まれる写本類は以下の通りである。なお本書はノルウェーのヘルメス出版より2016年8月に刊行され

る運びとなっている。

1. *Gāndhārī Ekottarikāgama*
2. *Itivṛttaka*
3. *Śālyasūtra*
4. *Uruvelāsūtra*
5. *Bhadrakalpikasūtra*
6. *Bodhisattvapiṭakasūtra*
7. *Sukhāvātīvyūha*
8. *Ratnaketuparivarta*
9. *Sarvaṇṇasamuccayasamādhī*
10. *Mahāsāṃghika Vinaya*
11. *Jātakamālā*
12. *Jyotiṣka-avadāna*
13. *Mahādeva Fragments*
14. *Pradakṣinapratibhodbhava*
15. サンガと弟子に関する断簡
16. 未同定ガンダーラ語 22 断簡
17. *Diśāsauvastika-gāthā*

さらに、上記写本類とは別にギルギットから発見された『長阿含経』の写本に含まれる全47経典から、第23、24、25、27、28の5経典については写本の解読を終了し、サンسكريット語校訂テキストの作成を行ったことを研究成果として報告しておきたい。この『長阿含経』写本については別途出版計画を立てている。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

- ① 松田和信 「長老サングラーマジットの物語」『インド論理学研究』7号、165-176、2014、査読無。
- ② 松田和信 “Japanese Collections of Buddhist Manuscript Fragments from the Same Region as the Schoyen Collection”, *From Birch Bark to Digital Data: Recent Advance in Buddhist Manuscript Research*, 165-169, Wien, 2014, 査読有。
- ③ 松田和信 「平山コレクションのガンダーラ語貝葉写本断簡について」『印度学仏教学研究』62巻1号、175-183、2013、査読有。
- ④ 松田和信 “Sanskrit Fragments of

the Samdhinirmocanasutra”, *Foundation for Yoga Practitioner, Harvard Oriental Series*, Vol. 75, 938-945, Cambridge, 2013、査読有。

- ⑤ 松田和信 「アフガニスタン写本から見た大乘仏教-大乘仏教資料論に代えて-」『シリーズ大乘仏教1・大乘仏教とは何か』(春秋社) 151-184、2011、査読無。

[学会発表] (計4件)

- ① 松田和信 “Palimpsests and Recycled Manuscripts from Bamiyan”, 第17回国際仏教学会、2014年8月21日、ウィーン大学(オーストリア)
- ② 松田和信 “Mahayana Fragments in the Hirayama Kharosthi Collection”, 第32回ドイツ東洋学会、2013年9月26日、ミュンスター大学(ミュンスター、ドイツ)
- ③ 松田和信 「平山コレクションのガンダーラ語貝葉写本断簡について」日本印度学仏教学会第64回学術大会、2013年9月1日、島根県民会館(島根県)
- ④ 松田和信 “A Sanskrit Fragment of Recension II of the Udanavarga”, 第16回国際仏教学会、2011年6月22日、法鼓佛学院(台湾)

[図書] (計1件)

- ① J. Braarvig, P. Harrison, J.-U. Hartmann, Kazunobu Matsuda, G. Melzer, L. Sander, “Manuscripts in the Schoyen Collection -Buddhist Manuscripts-”, 386 pp. + 40 plates, Hermes Publishing (Oslo, Norway) 2016 (Forthcoming)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

松田 和信 (MATSUDA, Kazunobu)
佛教大学・仏教学部・教授
研究者番号：90268128

(2) 研究分担者

()
研究者番号：

(3) 連携研究者

()
研究者番号：

(4) 海外研究協力者

Jens Braarvig
オスロ大学・教授
Jens-Uwe Hartmann
ミュンヘン大学・教授
Paul Harrison
スタンフォード大学・教授
Lore Sander
ベルリンインド博物館・学芸員
Gudrun Melzer
ミュンヘン大学・研究員
Stefan Baums
ミュンヘン大学・研究員